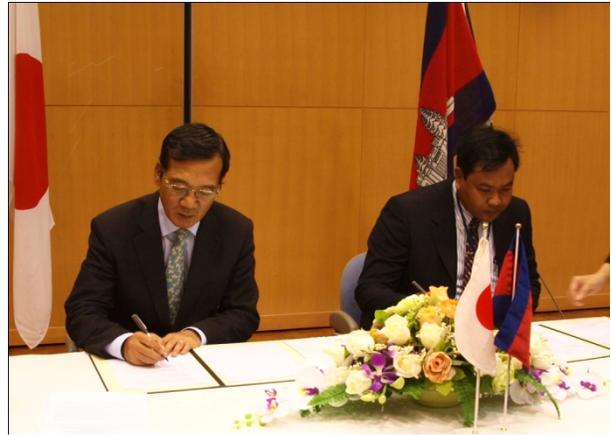


平成23年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典

1月17日（火）、平成23年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、黒木雅文特命全権大使とローカルNGOカンボディア・ビルディング・オーガニゼーションのクイツ・ロサール代表が、「バタンバン州サンカエ地区雨水タンク建設計画」（供与限度額：108,900米ドル）案件の贈与契約書に署名を行いました。

カンボジアの地方農村部では、疾患の約30%が不衛生な水の摂取に起因します。本件が対象とするバタンバン州サンカエ地区の小学校16校は、右地区の中でも不衛生な水の摂取による児童の疾患が多い学校であり、右16校の内3校には井戸がなく、13校については、飲料に適した水が出ない・水脈枯渇・故障等の理由により井戸が利用できない状況にあります。そのため、児童は自宅から飲料水を持参していますが、中には水を煮沸しないまま持参したり、学校近隣の池や川の水を飲む児童も多いのが現状です。本案件では対象の小学校16校に、全児童の必要飲料水量を満たし、供給することのできる大型の雨水貯水タンクを建設し、さらに簡易濾過器を設置する費用を支援します。



式典では、黒木大使がスピーチを行い、本事業により飲料水の水質改善が図られ、対象地域の子どもの健康増進につながることを願うと述べました。続いて、クイツ・ロサール代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、今後も地域住民と協力して



雨水タンクの維持管理に努めていくことが約束されました。